

© EPODOC / EPO

PN - JP2000197530 A 20000718
 PD - 2000-07-18
 PR - JP19990001302 19990106
 OPD- 1999-01-06
 TI - CHEST OF DRAWERS
 IN - WATANABE KOJI;TSUJII HIDEHIKO
 PA - SEKISUI HOUSE KK
 IC - A47B67/04 ; A47B91/06

© WPI / DERWENT

TI - Chest drawer has front and back drawers with handle slid in and out of drawer opening formed in front and back side of chest body
 PR - JP19990001302 19990106
 PN - JP2000197530 A 20000718 DW200046 A47B67/04 006pp
 PA - (SEKL) SEKISUI HOUSE KK
 IC - A47B67/04 ;A47B91/06
 AB - JP2000197530 NOVELTY - The drawer openings (7) are on the front side (2) and back side (3) of a chest body (4). The front and back drawer (6) has a handle (8) and can be slid in and out of the drawer opening. The casters are on the bottom surface (9) of the chest body and are hidden in an enclosure (17).
 - USE - None given.
 - ADVANTAGE - Improves external apperanace since drawers are provided in front and back of chest body. Chest drawer is moved easily through casters.
 - DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view of chest drawer.
 - Front side 2
 - Back side 3
 - Chest body 4
 - Drawer 6
 - Drawer openings 7
 - Handle 8
 - Bottom surface 9
 - Enclosure 17
 - (Dwg.1/5)

OPD- 1999-01-06
 AN - 2000-510858 [46]

© PAJ / JPO

PN - JP2000197530 A 20000718
 PD - 2000-07-18
 AP - JP19990001302 19990106
 IN - WATANABE KOJI;TSUJII HIDEHIKO
 PA - SEKISUI HOUSE LTD
 TI - CHEST OF DRAWERS
 AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To improve ease of handling while making the rear side look better when a chest of drawers is moved to use by enabling loading or unloading of goods housed in drawers as well from the rear side of the chest of drawers.

- SOLUTION: This chest of drawers includes drawer inserting parts 5 each having an opening part 7 on both sides of the front side 2 and the rear side 3 of the body 4 thereof 1 making up the top surface 15, the bottom surface 9 and the sides 14 and drawers 6 which each have a grip 8 on both sides of the front side 2 and the rear side 3 and are slidably inserted into the respective drawer inserting parts 5. Casters are installed on the bottom surface. Moreover, an enclosure 17 is provided on the periphery part of the bottom surface to conceal the casters.

I - A47B67/04 ;A47B91/06

(11)特許出願公開番号

特開2000-197530

(P2000-197530A)

(43)公開日 平成12年7月18日(2000.7.18)

(51) Int.Cl.?

識別記号

FI

テマコート* (参考)

A 4 7 B 67/04
91/06

501

A 4 7 B 67/04
91/06

501C 3B069

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 6 頁)

(21)出願番号

特願平11-1302

(22) 出願日

平成11年1月6日(1999.1.6)

(71)出願人 000198787

積水ハウス株式会社

大阪府大阪市北区大淀中1丁目1番88号

(72)発明者 渡辺 幸次

大阪市北区大淀中1丁目1番88号 積水ハ
ウス株式会社内

(72)発明者 辻井 秀彦

大阪市北区大淀中1丁目1番88号 積水ハ
ウス株式会社内

(74) 代理人 100080182

弁理士 渡辺 三彦

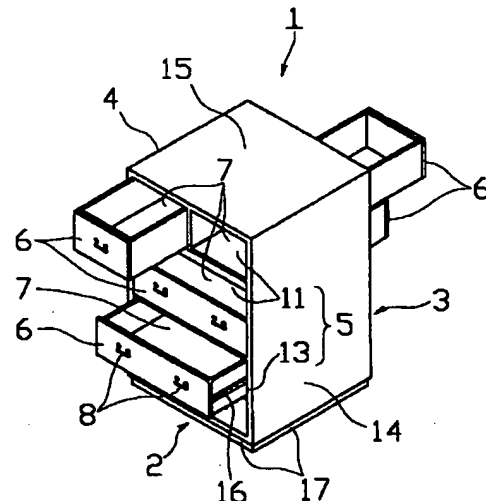
Fターム(参考) 3B069 CA03

(54) 【発明の名称】 筆 筒

(57) 【要約】

【課題】 筆筒の背面側からも引出しの中に収容した物を出入可能とすることにより、前記筆筒を移動させて使用するような場合における使い勝手を向上させ、なおかつ、背面側の見栄えを良くする。

【解決手段】 上面１５、底面９及び側面１４を構成する筆筭１の本体４の正面側２及び背面側３の両側に開口部７を有する引出し挿入部５と、正面側２及び背面側３の両側に把手８を有し、前記引出し挿入部５に摺動可能に挿入された引出し６とを具備する。また、前記底面９にキャスター１０を設ける。更に、前記底面９の周縁部に前記キャスター１０を覆い隠す囲い１７を設ける。



1 : 算筒
2 : 本体の正面側
3 : 本体の背面側
4 : 本体
5 : 引出し挿入部
6 : 引出し
7 : 開口部
8 : 把手
17 : 囲い

【特許請求の範囲】

【請求項1】 上面、底面及び側面を構成する本体の正面側及び背面側の両側に開口部を有する引出し挿入部と、正面側及び背面側の両側に把手を有し、前記引出し挿入部に摺動可能に挿入された引出しとを具備することを特徴とする筆筒。

【請求項2】 前記底面にキャスターを設けたことを特徴とする請求項1記載の筆筒。

【請求項3】 前記底面の周縁部に前記キャスターを覆い隠す囲いを設けたことを特徴とする請求項2記載の筆筒。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、筆筒に関するものであり、特に、背面側からも引出しを出入可能であり、なおかつ、背面側の見栄えが良い筆筒に係る。

【0002】

【従来の技術】筆筒とは、引出しを備えた収納家具の総称であるが、周知のように、従来の筆筒は、その背面を壁に接するようにして壁際に設置される場合が多く、通常は、床上に直接置かれ、部屋の模様替えなどの場合を除いて移動させることはほとんどなかった。

【0003】しかし、住宅等において限られた居住空間を最大限に広く活用し、なおかつ、前記筆筒などの家具を使い勝手の良い物とするためには、前記筆筒などの家具を積極的に移動できるようにすることが有効な手段となることがある。例えば、納戸などの物置部屋に筆筒を設置することは、収納効率を高め、前記居住空間を広く活用する上で有効であるが、前記物置部屋の内部の空間が狭い場合などには、その内部において前記筆筒に物を出し入れする作業を長時間行うことは非常に苦痛を伴い、不便である。そこで、このような不便を解消するため、キャスター、すなわち、自由に方向の変わる車輪を前記筆筒の底面に取り付け、前記筆筒を積極的に移動可能とする場合がある。このようにすれば、前記筆筒を前記物置部屋の外に出して作業を行うことができるようになり、衣類など、季節ごとに入れ替えて使用するような物の収納、整理など、比較的長時間の作業を行うような場合においても、そのような作業を任意の場所において行うことができるので、使い勝手の良いものとすることができる。また、筆筒を通常の部屋に置いて使用する場合であっても、前記のように積極的に移動可能とすることにより、その時々に応じて空いているスペースに前記筆筒を移動させることにより、居住空間を広く有効に活用することが可能になる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、前記筆筒の底面にキャスターを設けるなどして、容易に移動させることができようにしたことで、その時々によって任意の場所に移動させて使用したり、あるいは、簡単な間

仕切りとして使用したりすることもできるようになった。しかし、このようにして使用する場合、前記筆筒の背面側に人が位置することとなる場合も考えられ、そのような際、従来の筆筒では、背面側にいる人は、正面側に移動し、あるいは前記筆筒自体を回転させて正面側を自分の方へ向けなければ、前記筆筒の引出しの中に収容した物の出し入れを行うことができず、不便であった。

【0005】また、従来の筆筒は、背面側に正面側や側面側よりも劣る材質の板を使用している場合が多かった。これは、壁際に固定して設置され、移動させることがほとんどなかった従来の筆筒においては、背面側が人目に触れることはほとんどなかったことによる。しかし、上記のように、前記筆筒を移動可能とした場合、その設置場所は、従来のように壁際などの一定の場所に限定されない。したがって、部屋の真ん中に置かれる場合なども考えられ、従来はほとんど人目につかなかった前記筆筒の背面側も頻繁に人目につくことになる。このような場合に、従来の筆筒では背面側の見栄えが悪く、部屋の雰囲気悪くすることが考えられる。

【0006】本発明は、上記課題に鑑みてなされたものであって、前記筆筒の背面側からも引出しの中に収容した物を出入可能とすることにより、前記筆筒を移動させて使用するような場合における使い勝手を向上させ、なおかつ、背面側の見栄えを良くすることを課題とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記技術課題を解決するための具体的手段は、次のようなものである。すなわち、請求項1に記載する筆筒は、上面、底面及び側面を構成する本体の正面側及び背面側の両側に開口部を有する引出し挿入部と、正面側及び背面側の両側に把手を有し、前記引出し挿入部に摺動可能に挿入された引出しとを具備することにより、前記筆筒の正面側及び背面側の両側から前記引出しを出入可能としたことを特徴とするものである。

【0008】請求項2に記載する筆筒は、請求項1に記載する構成において、前記底面にキャスターを設けたことにより、前記筆筒を自在に移動可能としたことを特徴とするものである。

【0009】請求項3に記載する筆筒は、請求項2に記載する構成において、前記底面の周縁部に前記キャスターを覆い隠す囲いを設けたことにより、前記キャスターを目立たないようにしたことを特徴とするものである。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態に係る筆筒1を図面に基づいて説明する。本発明の実施形態に係る筆筒1は、正面側2から見た斜視図である図1及び背面側3から見た斜視図である図2に示すように、前記筆筒1の上面15、底面9及び側面14を構成する本体4に5段の引出し挿入部5を有し、この引出し挿入部5に

それぞれ引出し6を摺動可能に挿入したものである。そして、このうち上の2段の前記引出し挿入部5は、前記本体4の正面側2及び背面側3の両側に開口部7を有し、ここに挿入される前記引出し6は、前記本体4の正面側2及び背面側3、すなわち、前記筆筒1の正面側2及び背面側3の両側に把手8を有している。また、下の3段の前記引出し挿入部5は、前記本体4の正面側2にのみ開口部7を有し、ここに挿入される前記引出し6は、前記正面側2にのみ把手8を有している。そして、図4に示すように、前記筆筒1の底面9には、キャスター10が設けられており、その周囲に位置する前記底面9の周縁部には前記キャスター10を覆い隠すための囲い17が設けられている。以下、これらの構成について更に詳しく説明する。

【0011】図1及び図2に示すように、前記筆筒1の本体4は、比較的厚めの板を箱形に結合して形成されたものであり、前記筆筒1の上面15、底面9及び側面14を構成する。そして、この本体4には、5段の前記引出し挿入部5が設けられており、そのうち上の2段の引出し挿入部5は、前記本体4の正面側2及び背面側3の両側に開口部7を有している。このような引出し挿入部5を以下、両開口引出し挿入部11という。

【0012】前記筆筒1の前記引出し6を抜き出した状態である図3に示すように、前記両開口引出し挿入部11は、内側のすべての面、すなわち、上面、底面及び左右両側面がすべて凹凸のない滑らかな平面により構成されており、そこに挿入される前記引出し6も、その底面及び側面は凹凸のない滑らかな平面により構成されている。そして前記引出し6の保持は前記両開口引出し挿入部11の底面及び側面と、前記引出し6の底面及び側面との間で行われ、前記引出し6の出し入れの際には、前記両開口引出し挿入部11と前記引出し6の底面同士及び側面同士が直接摺動する。その際、前記引出し6の動作が硬かったり、あるいは、がたついたりすることがないようにするため、前記両開口引出し挿入部11の高さH1及び幅W1は、挿入される前記引出し6の高さH2及び幅W2よりもわずかに大きくなるように形成される。なお、ここでは、前記筆筒1としての使い勝手を考慮して、最上段の前記両開口引出し挿入部11を左右に2つに分割し、それに合わせて前記引出し6も約半分の大きさのものを2個設けている。

【0013】また、図1及び図2に示すように、前記両開口引出し挿入部11に挿入される前記引出し6は、前記本体4の正面側2及び背面側3、すなわち、前記筆筒1の正面側2及び背面側3の両側に把手8を有している。このようにすることにより、前記筆筒1の正面側2及び背面側3の両側から前記把手8をつかんで容易に前記引出し6の出し入れをすることが可能となる。前記把手8の形状としては、様々なものが考えられ、前記筆筒1の全体の意匠に合わせて任意に決定する。

【0014】そして、前記本体4に設けられた5段の前記引出し挿入部5のうち、下の3段は、前記本体4の正面側2にのみ開口部7を有し、背面側3には背板12が設けられている。このような引出し挿入部5を以下、片開口引出し挿入部13という。前記背板12は、前記両開口引出し挿入部11と略同一の面を構成するように設けられる。また、前記筆筒1の背面側3の見栄えを良くするため、前記筆筒1の側面14や上面15に用いられているものと同じ材質の板を使用する。前記片開口引出し挿入部13に挿入される前記引出し6は、前記筆筒1の正面側2のみに前記把手8を有する。この把手8は、前記両開口引出し挿入部11に挿入される前記引出し6に用いられるものと同様とする。

【0015】また、前記引出し6を出し入れする際の動作を軽くするため、ここでは、前記引出し6の側面と前記片開口引出し挿入部13の側面とに互いに嵌合するレール16が設けられ、前記片開口引出し挿入部13の側面の開口部7付近に、前記引出し6の側面に設けたレール16を支えるための図示しない車輪が設けられている。このようにすることにより、前記引出し6の中に比較的重い物を収納した場合であっても、容易に前記引出し6の出し入れの動作をすることができ、なお、このようにして前記引出し6の動作を軽くすることは周知の技術であるので、詳細な説明は省略するが、本発明においては、上記の構成に限定されることはなく様々な構成とすることができる。また、上記両開口引出し挿入部11と同様の構成とすることも可能である。

【0016】図4に示すように、前記筆筒1の底面9には、4個のキャスター10が設けられている。このキャスター10は、自由に方向を変えることができる小型の車輪であり、前記筆筒1の全体の意匠に合わせて一般的に市販されているものから選択して使用する。前記キャスター10は、前記筆筒1の安定を良くするため、前記底面9の四隅に比較的近い位置に固定されることが望ましい。なお、前記キャスター10の数は、ここでは4個としているが、前記筆筒1の大きさ等に合わせて自由に決定することができる。

【0017】また、前記底面9の周縁部には前記キャスター10を覆い隠す囲い17が設けられている。ここで、この囲い17は、一定高さの板を前記底面の周縁部に沿って固定して形成されたものであり、前記キャスター10を囲むように配置される。これは、前記筆筒1の意匠のいかんによっては、前記キャスター10が全体の意匠と合わない場合があることから設けられたものであって、前記囲い17を設けることにより、前記キャスター10の取付けに必要な高さを確保しつつ、これを目立たないようにすることができる。これにより、前記筆筒1全体の外観を統一し、デザイン的に優れたものとするのが容易になる。したがって、前記筆筒1の意匠が全体として前記キャスター10を取り込んで調和している

ような場合には、前記囲い17を設けないこともある。

【0018】以上、本発明の実施形態について説明してきたが、本発明に係る筆筒1は、上記の実施形態に限定されるものではない。すなわち、前記引出し挿入部5及びそこに挿入される前記引出し6の数は、前述のように5段に限定されるものではなく、それよりも増加させあるいは減少させることも任意である。また、前記筆筒1の本体4の正面側2及び背面側3の両側に開口部7を有する前記両開口引出し挿入部11も、上の2段だけに限定されるものではなく、使用者の好みや、使用状態に合わせて、すべての前記引出し挿入部5を前記両開口引出し挿入部11とすることもでき、あるいは、一部を両開口引出し挿入部11とし、残りを片開口引出し挿入部13とすることもできる。更にまた、前記筆筒1が小型の場合などには、前記キャスター10を設けない場合もある。

【0019】次に、本発明に係る筆筒1の実際の使用方法について説明する。例えば、図5は、ある家屋の1階部分の天井から上部を取り除いた状態であるが、この図に示すように、階段18の下に納戸19が設けられ、この納戸19に隣接する部屋20との間には隙間空間21が設けられている場合に、この隙間空間21の形状に合致するように設計された本発明に係る前記筆筒1を前記隙間空間21に嵌め込むようにして設置する。このようにすれば、部屋に設置した場合のように前記筆筒1が邪魔になることがなく、居住空間を広く確保することができるとともに、必要な場合には前記筆筒1を移動させれば、前記隙間空間21は、前記納戸19との通路として使用することもできる。

【0020】そして、前記筆筒1は、前述のとおり、その正面側2及び背面側3の両側から前記引出し6を出し入れすることが可能であるため、上記のように使用する場合には、前記納戸19の中からと前記隣接する部屋20からの両方から前記筆筒1の前記引出し6の内部に収容したものの出し入れを行うことができる。したがって、前記納戸19と前記隣接する部屋20との間を行き来する手間を省くことができる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の請求項1に係る筆筒は、上面、底面及び側面を構成する本体の正面側及び背面側の両側に開口部を有する引出し挿入部と、前記正面側及び背面側の両側に把手を有し、前記引出し挿入部に摺動可能に挿入された引出しとを具備することにより、前記筆筒の正面側及び背面側の両側から、前記引出しの出し入れを行うことができるので、人が背面側に位置する場合も、正面側まで移動したり、あるいは

は前記筆筒を回転させたりすることなく、前記筆筒の引出しの中に収容した物の出し入れを行うことができる。また、前記背面側に前記引出し挿入部の開口部を設け、前記背面側の前記引出しに把手を設けたことにより、前記正面側と同一の構成となり、前記筆筒の背面側を正面側と同様に見栄えの良いものとすることができる。

【0022】本発明の請求項2に係る筆筒は、請求項1に係る発明の効果に加えて、前記底面にキャスターを設けたことにより、前記筆筒を容易に移動させることができるため、その時々に応じて空いているスペースに前記筆筒を移動させることにより、居住空間を広く有効に活用することができるとともに、前記筆筒の正面側及び背面側の両側から、前記引出しの中に収容した物の出し入れを行うことができるという本発明の特徴を活かしてよりいっそう前記筆筒の使い勝手を向上させることができる。

【0023】本発明の請求項3に係る筆筒は、前記底面の周縁部に前記キャスターを覆い隠す囲いを設けたことにより、前記キャスターの取付けに必要な高さを確保しつつ、これを目立たないようにすることができるので、前記キャスターが前記筆筒全体の意匠と合わない場合においても、容易に前記筆筒全体の外観を統一し、デザイン的に優れたものとすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る筆筒の正面側から見た斜視図

【図2】本発明に係る筆筒の背面側から見た斜視図

【図3】本発明に係る筆筒の引出しを抜き出した状態を示す斜視図

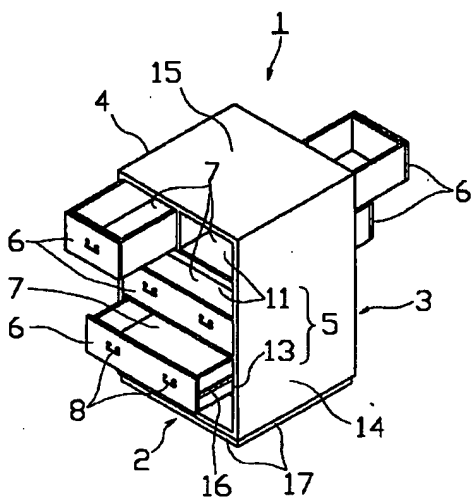
【図4】本発明に係る筆筒の底面側から見た斜視図

【図5】本発明に係る筆筒の使用法の具体例を示す斜視図

【符号の説明】

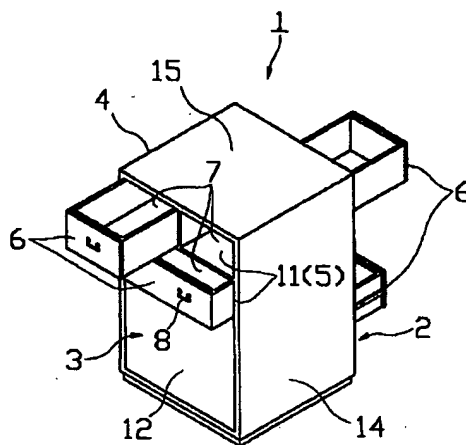
- 1 筆筒
- 2 筆筒本体の正面側
- 3 筆筒本体の背面側
- 4 筆筒の本体
- 5 引出し挿入部
- 6 引出し
- 7 開口部
- 8 把手
- 9 筆筒の底面
- 10 キャスター
- 14 筆筒の側面
- 15 筆筒の上面
- 17 囲い

【図1】

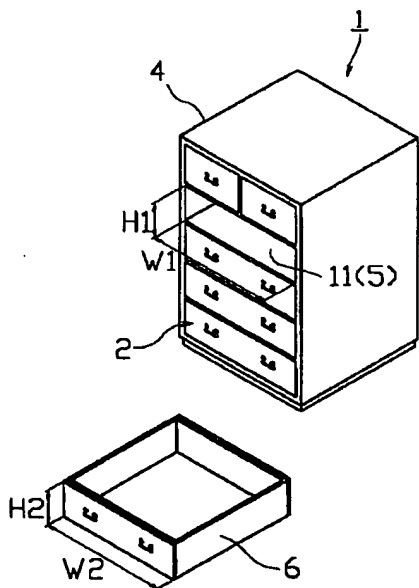


- 1 : 箆筥 6 : 引出し
2 : 本体の正面側 7 : 開口部
3 : 本体の背面側 8 : 把手
4 : 本体 17 : 囲い
5 : 引出し挿入部

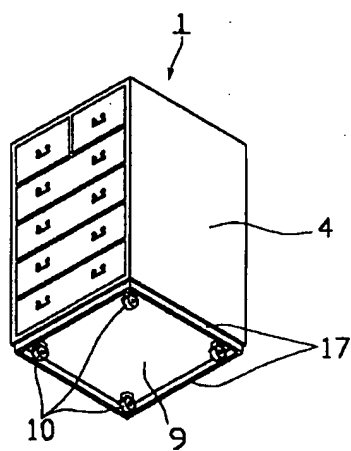
【図2】



【図3】



【図4】



- 1 : 箆筒
4 : 本体
9 : 箆筒の底面
10 : キャスター
17 : 囲い

【図5】

